

# ともしび通信

## 特別伝道集会

### いま、変える！

 特別講師 小川英理也師

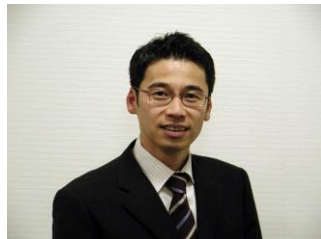
### 10月27日(日)

● I 礼拝 AM 10:30~12:00 ● II 礼拝 PM 2:00~3:30

1975年大阪生まれ。牧師家庭に育ち幼少期に信仰に導かれる。デザイナーの道を志していた18歳の時に、牧師になるために献身。神学校での4年の学びを終え、1999年より千里ニュータウンバプテスト教会(大阪府箕面市)の牧会スタッフとして働いている。教会の若い世代をリードしながら、信徒教育、賛美音楽、子ども伝道の分野で明るくのびやかな発想をもって、キリストの愛にあふれる教会形成のために日々、奮闘されておられます。



**小川英理也(おがわ えりや) 師**  
信徒養育/青年/Kids Church 担当  
1975年大阪生まれ。関西単立バプテスト神学校(牧会上級神学科)を卒業後、1999年よりスタッフとして迎えられ、青年部を担当している。また、信徒養育プログラムの主事として、聖書学びテキスト教案づくり、リーダー訓練を担当している。



「心の一新によって、自分を変えなさい。」

ローマ人への手紙 12章2節

テーマとなる「いま、変える」とは、いまずぐに変わるということです。明日やろう、いつかやろう、と思っている限りはいつまでも自分を変えることはできません。聖書には自分を変えることばにあふれています。秋の特別集会にぜひお出かけくださり、自分を変える機会となりますことを心より願っています。 牧師 松本俊雄

町田バプテスト教会  
町田市つくしの2-31-4 【TEL】042-796-3822

## 集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。  
<http://goodnews194.com>

### 日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。



毎日曜  
I AM 10:30~12:00  
II PM 4:00~5:00

### 教会学校

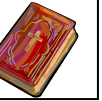
幼児から大人まで、クラスに分かれて聖書を学んでいます。どの世代にあっても聖書の学びは生涯の道しるべとなります。



毎日曜 9:00~10:00

### 水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、メッセージに耳を傾けます。講解説教で順番に学んでいるので聖書を知りたい方に最適です。



毎日曜 19:30~21:00

### 壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。

毎月第2日曜  
13:30~15:00



### 婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜  
13:30~15:00



### 青年会

大学生から社会人まで、月1回、ともに集まり賛美をし、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜  
13:30~15:00



### 子育てサークルハンナの会

ハンナの会は子育てに疲れたり、悩んでいるお母様に元気を与える会。お子さまはお預かりします。

毎月第3火曜  
10:30~13:00  
昼食付



### ツールペイントサークル

賛美とメッセージのひととき。花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲み、語らうひととき。

毎月第1水・金 10:00~12:30



### 木曜婦人集会

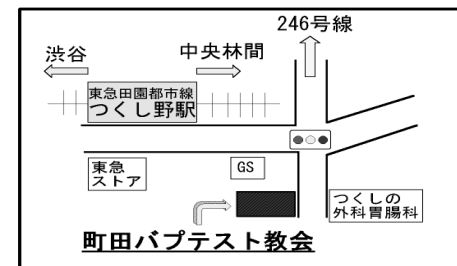
家事、育児、仕事に忙しい女性たちがありのままの自分でいられる場所。希望と勇気が与えられる時。

毎週木曜 10:30~12:00



風車(かざぐるま)で遊んだことはありますか。風が吹けば、くるくる回りますがそんなに都合よく風は吹いてくれない。自分で風車を持って走り出すしかない。走ることで風を起し、止まっていた時にはなかった色合いのきれいな風車が完成します。人生でも自分が動けば新しい色彩の自分に出会えるはずですよ!

- 集会は参加自由です。お気軽に、お越しください。
- 質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野 2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822



### 編集後記

「ともしび通信 74号」は、伝道集会のお知らせ号です。特別講師は小川英理也(おがわ えりや)先生です。小川先生は若い世代のリーダーとして活動され、賛美音楽や子ども伝道にも力を注いでおられます。いまは、若い方や子どもたちが生きにくい時代といわれています。伝道集会には、若い世代の方々にもぜひ、耳を傾けていただきたいです。きっと前進する力が与えられると思います。

## 単立 町田バプテスト教会

□町田市つくしの2-31-4 ●http://goodnews194.com  
□042-796-3822 ●mail:machida@church.email.ne.jp

牧師室より 松本俊雄 牧師

「人が変わる」とは、心が変わることです。そして心が「変わるとは」「その人の心の奥底にある「信念」や「考え方」が変わることです。

ではどうやって「信念」や「考え方」を変えればよいのでしょうか？

これはなかなか難しい問題です。なぜなら、人は生まれ、成長し、いつか気がついた時、その人なりの「信念」や「考え方」が自分でも無意識のうちに身につけてしまっているからです。

ですから、努力し頑張っ「自分を変わった」と思っても、何かの機会に「変わっていない」自分に気づかされがっかりしてしまうことがあります。根元に植えつけられた「信念」や「考え方」が変わっていないからです。

聖書に「人の心は何よりも陰険で、それは直ぐない。(エシマヤ書17章9節)」とありますが、私たちの現実を現わしていることばだと思います。しかし、聖書はそれだけでなく、「あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。(エゼキエル書36章26節)」とあります。

つまりイエス・キリストを信じるなら、その人は神から「新しい心と霊」が与えられると約束されています。キリスト教2千年の歴史の中で、数えきれない方々が、この信仰によって心が変わえられ新しい人生を歩みました。ここに本当の解決があります。



私は今年の9月で67歳になりました。最近、加齢のためか物忘れがひどく、自分に自分であきれてしまっています。その他、老眼が進んだこと、気力・体力・忍耐力の衰え、節々の痛み、食欲の減退等、数え上げればきりがありません。

そんなことを考えているとつい暗い気持ちに陥ってしまいます。しかし、聖書の世界を見るとどうも正反對のような気がします。信仰の父といわれたアブラハムは、カルデヤのハラン(今のイラク中部)から神様の声を聞いてカナン(今のイスラエル)に出発した時は75歳でした。

モーセがエジプトの地で奴隷であったイスラエル人を率いて脱出したのは80歳でした。

ヨシヤがモーセの後継者としてイスラエル人を率い、ヨルダン川を渡り、乳と蜜の流れる約束の地、カナン征服の戦いを始めたのが80歳近くでした。

人間の考えでは新しい事を始めるなら気力も体力もある、若いうちがいいと思います。しかし、神はあえて高齢者を用いられた。それは、自分のあらゆることに限界を感じ、神の前に、人の前にも本当に謙遜になれるからのような気がします。

先人とは比べられませんが、歳を重ねることは謙遜になるための恵みだと感謝し、生かされている一日一日を精一杯過ごしたいと思っています。



私的映画批評

「人生に乾杯！」  
2007年ハンガリー作品  
松本勇哉

松本勇哉

この話の主人公ミルとヘディ夫妻は81歳と70歳の年金暮らし。しかし年金だけでは生活できず家賃も滞り電気も止められてしまう。この状況にミルは、なんと郵便局強盗を企てる。それも一人で紳士的に。最初は夫の犯罪に驚き、警察に協力していたヘディだったが、いつの間にか2人で逃避行する展開に・・・

2人でドライブするシーンなんてすごく楽しそう。これは、強盗してお金があるからではなく、信念に沿って行動している今が、たとえ歳をとっていても、人生で一番楽しいからなのではないだろうか。まだまだミルより若いのに、毎年「来年こそは！」と行って、がんばりを繰り返していきやっばりダメだ。どんなときでも、今が一番楽しいと思うことをしなければ！もちろん強盗以外で。

「あすのための心配無用です」という言葉がある。これは、今日を精一杯がんばれ、ということなのかもしれません。今日の人生に乾杯！



婦人会リレー  
アナタに会えて嬉しい



先生の愛にふれて  
高橋圭子

五年生の夏休み明け、転校生だった私を「僕のクラスにも入ります。」と引き受けてくださったM先生。クラスには地元の子、街から来た子、施設から通っている子、貧しい家庭の子、いろいろな環境の子がいました。昼休みと放課後は、先生とクラス全員で、助け鬼をして遊び、休みの日には、野山や池、以前の赴任先の島にまで、先生はクラスの子を連れて行って下さいました。クラスのひとりひとりの子どもたちが先生に愛されていると実感していたように思います。

その後、私も先生のようになって恩返しをするのだと心に決め、教師への道を選びました。学校で子どもたちと向き合う中で、それまで見えなかった、罪だらけの本当の自分が子どもという鏡に映しだされて見えてくるようになりました。

そして私は駆け込むように教会へ行き、私の罪の身代わりになり、救って下さったイエス様を信じ、信仰を持つようになったのです。あれから、27年。神様の愛は日々、私に迫ってきます。その愛を一人でも多くの方々に伝えたいと思っています。

青年会リレー  
今のキミを忘れない



小さな出来ごと  
加藤知子

息子は今1歳。やんちゃざかりで、目が離せません。先日大事なメモ帳がなくなり、すぐに必要なものだったのであちらこちらと探し回りましたが見つかりません。かばんに入れたつもりですが、息子が普段からそのかばんの中身を引っ張り出してはちらかしているの、メモ帳をどこかに置いたのか、犯人は息子か、と怒りがこみあげてきました。

冷たい言葉をあびせて八つ当たりした私の心に「そんな考えと態度は間違っているよ」と神様のこゝろが響きました。ひと呼吸して「神様ごめんなさい。息子は何もわるくありません。こんな自己中心な母親をゆるしてください」と祈りました。そして落ち着いて捜すと、他のかばんの中からメモ帳が見つかりました。「ママの勝手に怒ってごめんね！」と息子を抱きしめながら涙があふれまじった。いつもの笑顔を見せてくれた息子にまた涙する私。子育ては自分育てと言いますが、日々の小さな事を通して教えられることを忘れないようにと願いながら、今日も息子と向き合います。